

せんばら

平成二十五年は、第二祖日向聖人の七百遠忌です

題字・持田日勇眞首観下

第16号

発行日 平成19年7月1日

発行所 千葉県茂原市茂原 1201
日蓮宗本山東身延 茂原寺
発行責任者 総務執事 増田 寶泉
TEL0475-22-3153

- 10/11 1組・2組の統一信行会は、長南町妙詮寺
- 急募・山務職員募集中(日蓮宗僧侶の資格を有する)
- 金森上人8月で安退社、自坊(円頓寺)の法務に専念
- ホウロク会は7月30日午前9時からで十

掲示板

八月十日～十五日まで

お盆のお花を販売しています。

(子育観音さま脇)

韓国仏教宗団協議会は韓国で一番大きな宗派である曹渓宗が中心となって、太古宗、天台宗、眞覺された社団法人であります。

今年も六月二十六日から二十九日までの四日間、韓国の海印寺を中心にして、第二十八回韓日・韓仏教文化交流大会が開催されました。この会議は毎年韓国と日本で交互に開催されるもので、今年は韓国の韓日佛教交流協議会が担当して開催したものであります。



持田日勇眞首観下

第二十八回

韓日・韓仏教文化

交流大会に参加して

貫首様のお言葉

宗、觀音宗、絕和宗等の二十数派の宗団で結成されたものであります。

会長は殆ど曹渙宗から出ています。現在の会長は曹渙宗 宗務院長の智冠法師で、副会長は天台宗宗務院長の正山法師と眞覺宗統理

院長の悔淨法師です。理事長は觀音宗の宗務院長の李泓坡法師で、事務総長は絶和宗 宗務院長の南亭法師です。理事長と事務総長は長い間変わらずに務めています。韓日佛教交流協議会の推進者であります。

日本日の韓佛教交流委員会は

本当に任意な組織でボランティ

アです。会長は浄土宗大本山、謙倉光明寺の宮林昭彦法主で、副会長は私と真言宗智山派大本山、川崎大師平間寺の藤田隆乗貫首です。理事長は天台宗別格山、調布市深大寺の住職谷玄昭師で事務総長は川崎大師の執事長野沢隆幸師です。

第二次大戦後の日韓佛教交流の



南采師らが來

日され両国の佛教交流協議会の設立準備会談が重ねられました。昭和五十二年十月にソウルで第一回韓日・日韓佛教交流大会が開催されました。そして昭和五十三年に第二回日韓・韓日佛教交流大会が、東京芝増上寺で開催されました。続いて昭和五十四年十月にソウルで第三

回大会が開催されました。その後昭和五十五年から五十七年まで(一九八〇~八二)は開催します。その後日韓両国の友好を図ろうと、国柱会の田中香甫会長が中心となって、日本の佛教界に呼び掛け、韓国・扶余に「佛教传来謝恩碑」が建立されました。昭和五十一一年(一九七六年)に太古宗の宗務院長李

韓国はその後八月に崔圭夏大統領が辞任し、全斗煥大統領が就任し、十月に第五共和国が発足します。

す。

韓国はその後八月に崔圭夏大統領が辞任し、全斗煥大統領が就任し、十月に第五共和国が発足します。

韓國の政情が落着いた昭和五十八年十月に第四回大会がソウルの普門寺で開催されました。第五回大会は神奈川の川崎大師平間寺で開催され、それ以後今まで毎年交互に開催されてきました。

宗淵は天台宗真盛派の学僧で、大原魚山声明の大家でもあります。法華經の色々な經本をよく調べたものだと感心しました。私は數卷しか見ていませんが、それでも誤りがよく見られます。また松永教授も高麗大藏經について他の大藏經や諸本と対照して述べられて、よく勉強しているのだなあと思いまし

た。他の人の講演を聞くことは、その絶てを理解することは出来ませんが、一部でも参考になります。

最後に私が歓迎会で述べた挨拶を掲載します。

『今年、韓日佛教文化交流協議会の主催による第二十八回韓日・日韓佛教文化交流大会が高麗大藏經版本を収蔵する韓国の名刹、曹溪宗の海印寺を主会場にして開催されますことは大変ありがたいことと、誠にご同慶に存じます。

特に、今回の大会に参加するため訪韓いたしました私達日本代表团を暖かい友情で歓迎していただきまして、衷心より深く感謝申上げます。

韓日・日韓佛教文化交流協議会が韓国ソウルで一九七七(昭和五十二年)に第一回大会を開催いたしてから三十年を迎えることとなりました。

この間の先師のご努力は大変なものがあります。その熱意を思い起

すとき、両国にいかなる事態が起ころうとも、私達は、仏様に守られた絆を尊重し守つていかなければならぬと存じます。

日本と韓国とは百濟聖明王が仏像と經論を日本に贈られた、五三八年のいわゆる佛教公伝以前からの歴史を共有しております。その間に色々な不幸な出来事があり、深く懺悔するところであります。それを乗り越えて今日の親和と協調があります。

今年は朝鮮通信使の交流が江戸時代に再開してから四百年になります。両国民の友好の歴史を謳ひながら前向きに進んで参りましょう。

私のお坊さんとしての経験は小学校三年生での度牒から始まりました。それまで髪の毛をボウズにして、これまで髪の毛をボウズにしたことが無く、嫌で嫌でしようがなかったことを覚えています。その年のお盆から、お檀家の家にお坊さんの格好をして、初めてのお經廻りをやらされました。非常に恥ずかしく、「学校の友達に会いませんよう努力を続けて参りますよ」となりました。

この大会の成功と今後のご友誼を願つてご挨拶といたします。』

新入院員紹介



間に実施される小中学生を対象にした修行に行かされたり、父親がやっている「寒の入りから節分」まで実施している寒行を付き合いながら過ごしてきました。その後立正大学を卒業、今の私に落ち着くことが出来ました。

藻原寺に山務させていただくことになりました。

藻原寺に山務させていただくことになりました。お坊さんは千葉市長作町の師父が住職をしている「長尾寺」と言うお寺です。大学を卒業後二年間ほど自宅で僧侶について勉強させて頂いておりました。

私のお坊さんとしての経験は小学校三年生での度牒から始まりました。それまで髪の毛をボウズにしたことが無く、嫌で嫌でしようがなかつたことを覚えています。その年のお盆から、お檀家の家にお坊さんの格好をして、初めてのお經廻りをやらされました。非常に恥ずかしく、「学校の友達に会いませんよう努力を続けて参りますよ」と一生懸命太ついた体を小さくしていました。小学校四年生からは、沙弥校という夏休み期

私にとってもう一人のお爺ちゃんに可愛がっていたとき、失礼ながらも

んという感覚でした。このようなご縁があり、お声かけをいただけたものだと思っております。

これを考えるだけで私は非常に恵まれた、良い環境に居るのだなと実感致します。これからは、今までの感覚を捨て、本山藻原寺の貢首様としてお使いしていこうと思います。

まだまだ若輩者であり、覚えなければいけないことが多々ある身分では御座いますが、誠心誠意努力させて頂きますのでどうぞ温か目で見守って下さい。

奉仕作業

当山の役員さんの手作りの池は、庵裏中庭の

池の造作に始まり、彼岸橋(彼岸池)・事務所前・

仏殿横と二年間の間に次々と完成させ、現在仏殿横の池の譲過



彼岸池

行事



円壽之池

○身延山布教隊來山(四月二十九日)
本年も身延山より布教隊、總勢七十三名が來山しました。



身延山大聖人役の青石様

本年は、柏の妙照寺から日本大聖人の大神像が加わり、万灯講の神も盛り上がりを見せました。(チヨクト暑過ぎ)

ホウロク灸七月三十日(月)九時
盂蘭盆施餓鬼会八月十五日(水)
川施餓鬼会 八月二十四日
平成十九年度行事予定

門祖講 九月三日
秋季彼岸会 九月二十三日
宗祖御更衣式 十月一日
向尊殿大祭 十月三日
観音堂秋季大祭 十月十四日
お会式 十一月十日
子育て観音大祭 十二月一日

業、寺院に心より御礼申し上げます。

新人檀者紹介

茂原市町保 鶴岡 幸治様
茂原市町保 大多和正江様
茂原市早野 山田 良一様

今年度三月一日からの入檀者を掲載

奉納

丸山 國様 仏具奉納

堀口 芳子様 法衣
麻生 千恵様 飾り植木鉢
松本 哲也様 座布団一枚
石井 佐様 墓参手桶沢山



妙照寺の日進祭大ねぶた

協力頂きました。各位、団体、企

装置の建設を進めています。